



お元気ですか

株式会社ダイニ商会 TEL 045-521-4786

10月、大きな事故が2件発生

10月中旬に発生した事故は、横浜の現場にて、巡回清掃中の女性が来館中の配送業者の台車に後方から衝突されるという事故です。共用廊下を曲がってすぐの場所だったため、清掃員は背後からの台車の音に気付かず、配送業者の台車には身長ほどの高さまで荷物が積まれていたため、前方の清掃員が見えていなかったとのことでした。足首の捻挫と口腔内裂傷、歯にも異常があり、緊急搬送されることになりました。幸いにも骨には異常がなく、すでに仕事に復帰されています。

また、10月下旬に発生した事故は川崎の現場です。自転車にて退勤する際、転倒して頭部を強打するという事故でした。近隣の店舗の方や通行人の方により、すぐに緊急搬送され、頭部を2ヶ所骨折していることが分かりました。とても重大な事故で、現在も休業されています。

現場での事故といえば、足を滑らせての転倒や落下、駐輪ラックや階段などの頭上の出っ張り部分に頭部をぶつけるなど、自分たちが行っている作業中に起きるものと考えがちです。しかし、今回の横浜南部の現場での事故のように、第三者からのもらい事故や、通勤途上での事故も珍しくありません。

過去にも、危険なもらい事故や通勤災害が起きています。

マンション敷地内の坂道を掃き清掃中、坂の上から無人の自動車が暴走、危うく清掃員が轢かれそうになるという事故がありました。間一髪で避けることができましたが、手に持っていた塵取りは車の下敷きになり、また、避けた時よろけて転んだため、擦り傷と打撲を負いました。

また、通勤に利用していた自転車のブレーキが故障して発生した事故もありました。ブレーキが故障していたことに気付かないまま乗車し、下り坂で止まれず、バス停の待合ベンチ（鉄製）に激突するという事故でした。背骨を損傷し、長期の治療が必要となりました。

どちらも10年ほど前の事故ですが、実際に起こっており、今でも起こりうる事故の一例です。

自転車や自動車など、人や物にぶつかれば、それだけで大きな被害になる可能性が大きいです。利用する際には安全運転は当たり前ですが、定期的に整備や点検をきちんと行いましょう。

特に自転車での自損事故は、約半数がブレーキの故障によるものです。

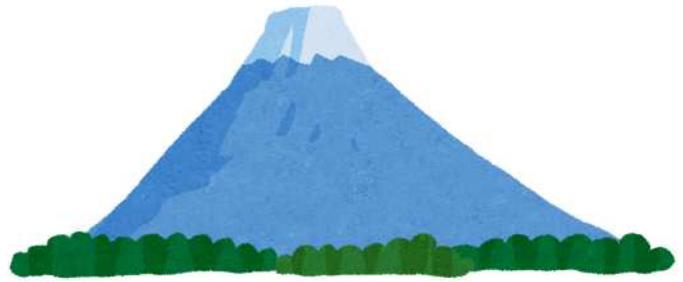
事故防ぐ 心に余裕と おもいやり

10月には、静岡県で観光バスが横転し、死者も出る大きな事故が発生しました。このように、自分の注意意識だけでは防ぎようのない事故もありますが、仕事や家庭内では、お互いに譲り合う思いやりの心を持つだけで防げる事故もあります。来月は1年で一番忙しい月、師走です。今月中に出来ることは早めに行い、師走はのんびりと心にゆとりをもって過ごし、新しい年を迎えたいですね。



富士山最後の噴火の日

先日新幹線の車中より雪に覆われた富士山を見ました。いつ見ても富士山は神々しくきれいな姿を見せてくれます。若い頃、冬の南アルプスに登り、遠くに白い富士山を目にして深く感動した時のことを、今、懐かしく思い出しました。



美しい富士山ですが、今から300年ほど前の1707年11月23日、江戸時代の噴火を最後に、今は静かに眠っています。とても静かな山ですが、実は未だにマグマを抱えた休眠山なのです。

富士山は過去に何度か噴火している記録がありますが、中でも**富士山三大噴火**と呼ばれるものがあります。

『日本紀略』『富士山記』などの古文書に記されている、800年～802年に起こった**延暦大噴火**。

青木ヶ原樹海や西湖と精進湖ができた、平安時代の864年～866年に起こった**貞観大噴火**。

そして、17日間断続的に爆発的な噴火が続いたとされている、1707年の**宝永大噴火**です。

この宝永大噴火の噴煙は、横浜、東京、千葉にまで届き、多量の砂塵降灰があり、大きな被害が起きたそうです。もし現在だったら交通や通信などに甚大な被害をもたらし、便利な生活に慣れた私たちの生活に、多大な損害を与えていたでしょう。

南海トラフ、東京直下地震などの厄災が心配されている現在、富士山噴火の災害も考慮し、防災備品の点検や避難経路など、改めて確認しておきましょう。

未曾有の大災害となった東日本大震災が起こった今、私たちの時代に富士山大噴火が起こらないとは限りません。災難は、いつ来るのか。それは誰にも分からないことです。

季節の歳時記

11月7日は立冬です。立冬は二十四節気の第19番目で、暦上の冬の始まりです。

陽の光も弱まり、朝夕などの冷え込みが始まります。寒暖の差が激しく、風邪を引きやすい季節ですので、体調管理に気を付けたいところです。

11月23日は小雪です。小雪は、二十四節気の第20番目で、わずかながら雪が降り始めるころです。

冬の気配をすぐそばに感じます。また、本格的な寒さではなく、小春日和の日もあります。しかし、地域によっては初雪の舞い散る頃なので、空気の乾燥によりインフルエンザが猛威を振るい始める時期です。

同時感染に注意

最近では、買い物や外食、観光やスポーツ観戦など、どこに行っても人が溢れ、新型コロナウイルスの問題は遠くへ行ってしまったように感じます。しかし、医療現場や専門家の人たちによると、感染拡大の第8波の到来とインフルエンザの同時感染が懸念されているとのこと。

新型コロナウイルスが蔓延してから、インフルエンザの感染者数は極端に減りました。

しかし、今年は少し様子が違うようです。新型コロナウイルスのワクチンと共に、既往症などの心配のない方には、インフルエンザの予防接種を受けることをお勧めします。

日常的な感染予防対策と共に、暴飲暴食を慎み、きちんと睡眠をとって、体力維持に努めましょう。



安全衛生委員会便り

10/12（水） 14：30-15：45 5名参加

- ・安全パトロールにて未だに靴底がつるつるの人が相当数いる、改善が追い付かない。
- ・11月はストレスチェック実施予定（週30H以上の方）
- ・研修動画3本視聴（通勤経路、脚立作業、ビルメン安全対策）今後の研修資料とする予定。

冬の3つの注意点

寒さ厳しい冬の季節が間近に迫ってきました。年越しを元気に過ごせるように、事故や体調不良へ備えましょう。

① 床面凍結による滑り転倒

冬の清掃現場で一番多い事故は、床面の凍結で滑ることによる転倒事故です。

朝の出勤電話やLINE（ライン）などで「本日は凍結注意です」と呼びかけることがあります。あれは、皆さんはもちろんのこと、居住者の方々の滑りによる転倒事故にも注意してください、という意味でお伝えしています。

玄関ホールやエントランスは、床面に石材系を利用しているマンションがとても多い

です。石材系の床面は凍結しやすく、**水拭き**などで濡らすと、すぐに凍結する場合があります。

特に、人の利用が一番多い朝の通勤通学の時間帯は、一日で一番冷え込む時間帯でもあります。

凍結注意の呼びかけがあった日や、建物周囲で凍結状態が見られたときは、掃き清掃だけにしてください。

また、ゴミ集積場や日の当たらない場所の水場での作業時は、自分の足元にも注意しましょう。



② 手指の皮膚疾患

寒さが厳しくなると、手指のしもやけやあかぎれなどの皮膚疾患に悩む人も多いの

ではないでしょうか。しもやけやあかぎれの予防には、保湿と血行促進が有効です。

作業中はゴム手袋や保湿クリームなどで保湿して、手の保護にあたりましょう。水仕事の時には、ゴム手袋の下に、軍手や綿の手袋などを着用するのもお勧めです。

そして、血行促進には日常生活での取り組みが大切です。

お風呂をシャワーだけにせず、湯船できちんと温まり、手足の指をもみほぐし、血流を促しましょう。

また、ビタミンEには末梢の血管を広げ、血液の循環を良くする働きがあります。落花生やアーモンド、マーガリン、赤ピーマン、卵黄などに含まれていますので、積極的に摂りましょう。熱エネルギーの基となる、たんぱく質を摂るのも大切です。



③ ヒートショック

ヒートショックとは、急激な温度変化で身体がダメージを受けることを言います。

すぐに連想するのはお風呂だと思いますが、実は身近に起きています。就業中、暖かい休憩室から寒い外に出た時、背中がぞくぞくとするのも、ヒートショックの一例です。

急激な温度差により血圧が大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こします。

ヒートショックで亡くなる人は、実は年間で交通事故での死亡数より多いと言われています。

冬の寒さが一段と厳しくなるこれからの季節、屋内清掃や休憩場所から出るときは、外との温度差に留意して行動しましょう。

電話連絡について

当社では巡回や配達などで、皆さんとのコミュニケーションを重視していますが、やはり電話での連絡も必要となります。お電話での報告・連絡を円滑にするため、皆さんにいくつかのお願いがあります。

- ✓ 出勤電話は、入社時、または契約内容変更時にお約束した時間に忘れずにかけてください。
- ✓ 欠勤・休暇・勤務日振替の申請は、休暇受付専用電話番号におかけください。
 - ◇ 休暇受付は **10:00～16:00** まで
 - ◇ **当日**の体調不良などでの休みの連絡は、**朝 6:45** まで
- ✓ 日中、各エリア担当は巡回・配達のため、事務所を留守にしています。
緊急連絡以外で各エリア担当と連絡を取りたい際は、先にアポイントを取っていただくか、14 時以降にお電話してください。
- ✓ **昼 12:00～13:00 は事務所職員が手薄**になります。
出勤電話や緊急連絡以外のお電話は控えていただくと助かります。



KING OF TIME のご案内

KING OF TIME (キング オブ タイム) とは、出勤電話に変わる、携帯電話による**出勤退勤登録システム**のことです。

初期登録をしてしまえば、その後の操作はとても簡単で、出勤時、現場到着時、退勤時に画面のボタン（右図）を押していただくだけです。

スマートフォンだけでなく、フューチャーフォン（ガラケー）をご利用の方でも、ご登録、ご利用いただけます。

また、登録自体は管理者が行います。その際には、氏名とメールアドレスが必要になります。

ご興味のある方は、登録までの案内を送付しますので、まずはお気軽に事務所までお問い合わせください。



LINE 公式アカウント登録のお願い

LINE（ライン）の公式アカウントでは、主に業務に関するお知らせや、天候や災害などの注意喚起をお伝えしています。

スマートフォンで LINE をご利用されている方は、ぜひ友だち登録をお願いします。

右の QR コードから簡単にご登録いただけます。

登録方法が分からない場合は、お気軽に事務所までお問い合わせください。



今月の安全標語 **思いやる 心ひとつで 事故はなし**

寒い朝、床を水拭きする時、「濡れて凍った床面で人が滑ったら」とか、使わない用具を一時置くとき、「ここに置いたら人が躓かないかな」など、少し先を想像してみましょう。

そういった、**人を思いやる心が事故を未然に防ぎます。**

「こうしたらこうなる」という結果を考える仕事が、事故やクレームを未然に防ぎます。

漠然と体を動かす作業から、常に先を見て結果を考える作業に心がけましょう。

安全の基は心です マナーの基も心です 仕事の土台は無事故です